

このたび、広島大学は日本語教育学（言語教育と社会）分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニュア（終身在職権））、テニュアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定します。テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>）にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2023年8月28日
(2023年11月2日一部改定)
(2024年2月9日一部改定)
(2024年4月5日一部改定)

関係各位

広島大学大学院人間社会科学研究科長
小林 信一 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属 (配属)

広島大学大学院 (大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム)

2. 職名・人員

准教授又は助教 1名

※採用時の業績審査により、テニユア教員 (准教授)、テニユアトラック教員 (准教授、助教) のいずれかに決定

3. 採用予定年月日

2024年9月以降できるだけ早い時期

4. 任期又は有期雇用契約期間

【テニユアトラック制適用の場合】

7年 (テニユアトラック准教授が准教授のテニユアを取得する場合)

5年 (テニユアトラック助教が准教授のテニユアを取得する場合)

- (1) 広島大学のテニユアトラック制に関する規則に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニユアを付与するかどうかのテニユア審査を行い、これに合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
- (2) 最終審査の結果、テニユアを付与しなかったときは、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
- (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。

5. 専門分野

日本語教育学（言語教育と社会）

6. 担当科目

- (1) 教養教育科目：教養ゼミ 等
- (2) 学部（専門教育科目）：言語教育と社会，日本語教育学基礎論等
- (3) 大学院（博士課程前期）：多文化社会特講，多文化社会演習，日本語教育学
研究方法論，日本語教育学研究プロジェクト等
- (4) 大学院（博士課程後期）：日本語教育学特別研究 等
- (5) この他，教養教育科目や学部・大学院の専門教育科目も担当することがあります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
- (2) 専門分野に関する研究業績を有すること（特に，言語教育史，言語使用と社会，多文化共生，言語政策などに関する研究業績があることが望ましい）。
- (3) 大学院における博士課程前期・博士課程後期の論文指導ができることが望ましい。
- (4) 日本語教育経験を有することが望ましい。
- (5) 日本語と英語両方による教育・研究指導ができることが望ましい。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（様式1を使用，写真貼付）
- (2) 研究業績一覧（様式2を使用）
- (3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー，著書）
- (4) 教育上の主要な業績
- (5) 大学等における管理運営に関わる主要な実績（実績がある場合のみ）
- (6) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）

9. 応募期限

2024年5月10日（金）17:00（日本標準時）（必着）

10. 応募書類送付先

ファイルをクラウド（Dropbox, Google Drive, One Drive など）に置き，本文中にリンクを示したメールを下記メールアドレスまで送信してください。数日中に受領確認メールを返信します。

ynishina@hiroshima-u.ac.jp（広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 仁科 陽江）

※メールの件名は「大学院人間社会科学研究科（日本語教育学プログラム：言語教育と社会）教員応募書類」としてください。

※応募期限から1週間後までに受領確認メールが届かない場合には，問い合わせ先にご連絡ください。

11. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は，原則として，英語によ

る模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。

- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態

- (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）
- (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
- (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

13. 給与等

- (1) 採用となった方には、年俸制（Ⅱ）（2021年10月施行）が適用されます。
- (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

14. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

15. 募集者名

国立大学法人広島大学

16. その他

- (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて廃棄いたします。
- (3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (4) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (5) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>
- (6) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。

求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>

(7) 広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

17. 問い合わせ先

広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 仁科 陽江

TEL:082-424-6877

E-mail: ynishina@hiroshima-u.ac.jp